

泌尿器科

臨床研修期間(2年間)		
病院名 (59病院)	医療圏	
横浜労災病院	横浜	
昭和大学藤が丘病院		
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院		
横浜旭中央総合病院		
菊名記念病院		
汐田総合病院		
昭和大学横浜市北部病院		
済生会横浜市東部病院		
済生会横浜市南部病院		
横浜南共済病院		
横浜栄共済病院		
横浜市立大学附属病院		
横浜市立みなと赤十字病院		
横浜市立大学附属市民総合医療センター		
横浜中央病院		
けいゆう病院		
横浜医療センター		
横浜市立市民病院		
国際親善総合病院		
戸塚共立第1病院		
東戸塚記念病院		
聖隷横浜病院		
帝京大学医学部附属溝口病院		川崎北部
聖マリアンナ医科大学病院		
川崎市立多摩病院		
新百合ヶ丘総合病院		
関東労災病院	川崎南部	
川崎市立川崎病院		
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院		
川崎協同病院		
川崎市立井田病院		
日本医科大学武蔵小杉病院		
川崎幸病院	相模原	
相模原病院		
北里大学病院		
相模原協同病院		
横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	
横須賀共済病院		
横須賀市立市民病院		
湘南鎌倉総合病院		
大船中央病院	湘南東部	
藤沢市民病院		
湘南藤沢徳洲会病院		
藤沢湘南台病院		
湘南東部総合病院		
茅ヶ崎市立病院	湘南西部	
平塚市民病院		
平塚共済病院		
東海大学医学部付属病院		
伊勢原協同病院		
秦野赤十字病院	県央	
大和市立病院		
海老名総合病院		
厚木市立病院		
東名厚木病院		
湘南厚木病院	県西	
小田原市立病院		
山近記念総合病院		
神奈川県立足柄上病院		

専門医研修期間(標準3年間)									
基幹施設名(6病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群				
北里大学院	相模原	B	湘野辺総合病院	相模原	B				
			相模原協同病院	相模原	B				
			相模野病院	相模原	B				
			相模原病院	相模原	B				
			横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B				
			東名厚木病院	県央	B				
			相模台病院	県央	B				
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C				
			横浜総合病院	横浜	C				
			東海大学医学部付属病院	湘南西部	B	湘南大磯病院	湘南西部	B	
						平塚市民病院	湘南西部	B	
						伊勢原協同病院	湘南西部	B	
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C	神奈川県立足柄上病院	県西	A	
						小田原市立病院	県西	A	
						さがみ林間病院	相模原	B	
横須賀共済病院	横須賀・三浦	B							
横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B							
藤沢湘南台病院	湘南東部	B							
藤沢市民病院	湘南東部	B							
茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B							
平塚共済病院	湘南西部	B							
秦野赤十字病院	湘南西部	B							
神奈川リハビリテーション病院	県央	B							
大和市立病院	県央	B							
大口東総合病院	横浜	C							
横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C							
横浜南共済病院	横浜	C							
横浜市立大学附属病院	横浜	C							
済生会横浜市南部病院	横浜	C							
神奈川県立がんセンター	横浜	C							
横浜栄共済病院	横浜	C							
国際親善総合病院	横浜	C							
横浜市立市民病院	横浜	C							
横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C							
横浜医療センター	横浜	C							
川崎市立井田病院	川崎南部	C							
横浜市立大学附属病院	横浜	C				神奈川県立足柄上病院	県西	A	
			小田原市立病院	県西	A				
			さがみ林間病院	相模原	B				
			横須賀共済病院	横須賀・三浦	B				
			横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B				
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B				
			藤沢市民病院	湘南東部	B				
			茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B				
			平塚共済病院	湘南西部	B				
			秦野赤十字病院	湘南西部	B				
神奈川リハビリテーション病院	県央	B	大和市立病院	県央	B				
			大口東総合病院	横浜	C				
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C				
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C				
			横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C				
			横浜南共済病院	横浜	C				
			済生会横浜市南部病院	横浜	C				
			神奈川県立がんセンター	横浜	C				
			横浜栄共済病院	横浜	C				
			国際親善総合病院	横浜	C				
横浜市立大学附属病院	横浜	C	横浜市立市民病院	横浜	C				
			横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C				
			横浜医療センター	横浜	C				
			川崎市立井田病院	川崎南部	C				
			帝京大学医学部附属溝口病院	川崎北部	C	横浜鶴ヶ峰病院	横浜	C	
						総合高津中央病院	川崎北部	C	
			聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C	大船中央病院	横須賀・三浦	B	
						聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C	
						川崎市立多摩病院	川崎北部	C	
						日本鋼管病院	川崎南部	C	

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県西	A	小田原市立病院	417	<p>当院は、県西地域の基幹病院として、28の診療科を備え、急性期、高度医療や救急医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。</p> <p>また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。</p> <p>全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。</p>	<p>当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病棟連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。</p> <p>当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえることを期待しています。</p> <p>また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れているとともに、診療科間の連携も密に行われていることから診療しやすい勤務環境が整っており、ダビンチや遠隔医療システムなど、先進的な医療機器の導入も積極的に行っています。</p>
県西	A	神奈川県立足柄上病院	296	<p>県西医療圏は県内でもより早期に高齢化・人口減少が起きているが、医療需要は幅広くあり、特に救急医療の維持には人員が必要であるため。</p>	<p>generalな力を持った総合診療の良い指導医があり、横浜市大との連携で専務年限終了後に関してもキャリア継続が可能。新型コロナウイルス対策では、県の重点医療機関として流行の初期より患者を受け入れるなど、県の医療体制維持に貢献している。</p>
相模原	B	北里大学病院	1140	<p>○ 神奈川県北地域の関連病院(12施設)における泌尿器科医療を、北里大学泌尿器科よりの人的派遣で運営を行っているため、地域枠医師の就業には大変マッチしていると考えられるため、受け入れを希望する。(泌尿器科)</p>	<p>○ 今後も各病院の特色を生かした専門プログラムを展開する。特に、ロボット支援機器が各関連病院に配置され、21世紀の医療を具現化できている。さらに、地域枠医師であっても、分け隔てなくローテーションが可能であり(県北の病院が多いため)、かつ、先端医療に携わることができ、22世紀へ繋ぐ人材の育成を目指している。(泌尿器科)</p>
横須賀・三浦	B	横須賀市立市民病院	482	<p>各診療科の医師数は十分とは言えず、診療科によっては入院制限や緊急時の手術制限をする場合もある。二次保健医療圏の医師数の状況を踏まえても、更なる医師の確保が必要である。</p>	<p>派遣された医師が、臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した診療ができ、地域医療に貢献できるよう配慮していきます。</p>
横須賀・三浦	B	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	740	<p>教育体制が整っている。未来に向けてたかいレベルの医師を育てたいと思っています。</p>	<p>泌尿器科：腹腔鏡支援ロボットのダヴィンチを用いて前立腺全摘、腎部分切除、膀胱全摘、腎盂形成術を行っています。より低侵襲で、質の高い手術が行えるようになっています。</p>
湘南東部	B	医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会病院	132	<p>慢性的な医師不足、医師の高齢化が顕著なため。</p>	<p>当院は一般急性期132床の中規模病院なので、各診療科の距離が近く、科の垣根を超えた協体制が医師同士でとられております。初期研修を終え、専攻科をお考え中の先生にゆつくりと将来を見据える時間を取りつつ研鑽が詰まる病院だと思っています。</p>
湘南東部	B	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	<p>神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。</p>	<p>当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看取りなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えず自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生かす人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。</p>
湘南東部	B	茅ヶ崎市立病院	401	<p>—</p>	<p>—</p>
湘南西部	B	東海大学医学部付属病院	804	<p>本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。</p>	<p>特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。</p>
湘南西部	B	平塚市民病院	416	<p>当院の救急車搬送患者数は10,322人(令和5年度)であり、全国的に見ても上位に入る多さであるが、一部の診療科では医師不足の状況が深刻化しており、「地域医療支援病院」として地域のニーズに応える医療を展開する中で、今後も引き続き安定して患者を受け入れるためにも、ぜひ医師の派遣を要望します。</p>	<p>当院は29診療科のもと、各科症例数も多いので、さまざまなスキルを積むことができ、幅広い科目で専門医の資格を取得することもできます。湘南地域で地域密着型の医療を提供する自治体病院の一員として、共に活躍していただける先生をお待ちしています。</p>
湘南西部	B	秦野赤十字病院	320	<p>定員医師数がならず受け入れを希望します。</p>	<p>日本赤十字社の使命の一つである災害医療は、今後も予期せぬ災害において被災地での迅速な活動と当院の地域で災害が生じた際には当院が災害拠点病院として医療活動が行えるよう準備を行っております。通常の診療では2023年血管造影室が1部屋増設され、脳神経外科や循環器内科などでの血管治療がより遅滞なく可能となりました。当院泌尿器科および外科で2024年に手術を支援するロボットを用いた手術を行い、今後も安全で高度な医療を行う所存です。その他消化器内科、脳神経内科、腎臓内科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線科は常勤の専門医が診療いたします。代謝内分内分泌科、産婦人科、心臓血管外科医、形成外科、呼吸器内科は外来のみの診療ですが、当院は2023年地域医療支援病院に認定され、今後も引き続き秦野近隣の様々な医療機関と連携して地域医療を支える病院として診療を行います。各診療科の概要・特徴につきましては、当院ホームページをご覧くださいませようお願いします。</p>
横浜	C	昭和大学藤が丘病院	584	<p>当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まる事が予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。</p>	<p>当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を多く経験することができます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。</p>
横浜	C	済生会横浜市東部病院	562	<p>—</p>	<p>—</p>
横浜	C	横浜市立大学附属市民総合医療センター	726	<p>—</p>	<p>—</p>

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
横浜	C	横浜市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張らしましょう。
横浜	C	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 聖隷横浜病院	367	・地域枠医師を受け入れるための条件に合致する医療機関であるため ・当院は地域に根差した診療を行っており、地域医療を担う医師の育成という本取り組みの趣旨に合致するため	●泌尿器科 → 常勤医師1名の体制ですが一般泌尿器疾患のほか、結節性硬化症の診療も行っています
横浜	C	社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	287	外科、内科、泌尿器科、整形外科、眼科には既に大学人事での専攻医が所属し、他の診療科にも指導体制が整備されているが、いずれの診療科も医師不足である。	横浜市2次救急拠点病院Aとして年間5,000件以上の救急搬送を受け入れ、地域の中核病院として多くのcommon diseaseに対応している。産科では無痛分娩を積極的に行ない、分娩数の約半数を占めている。緩和ケア病棟を備え、診断から緩和までシームレスながん医療を展開している。泌尿器科、外科、婦人科ではロボット支援手術を積極的に行なっている。
横浜	C	公立大学法人 横浜国立大学附属病院	674	—	女性医師支援をはじめ、働きやすい環境づくりのための各診療科会議の運用や各種制度の周知などを行っています。
横浜	C	社会福祉法人 恩賜財団済生会支部 神奈川県済生会横浜市南部病院	500	当院は横浜市大関連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密にしております。このことからとくに、指導医が複数いる診療科ではサブスペシャリティの指導体制も充実しております。
川崎北部	C	帝京大学医学部附属溝口病院	400	地域への貢献の意志がある意欲的な人材を受け入れることにより、各科の充実を図ることは、当院の理念である「地域に根ざした高度で良質な医療を実践します。」に合致するため。また、全ての領域ではないが専門医の基幹・連携施設となっており、専攻医の育成も可能であるため。	大学病院として高度専門医療はもちろん、地域に密着しているため多くのコンディシズを経験することができます。各科の垣根は低く、医療スタッフの連携やチームワークもよい病院です。 ●泌尿器科:泌尿器悪性腫瘍、尿路結石、排尿障害など幅広くそしてロボット支援手術などを含む最先端の診療を行っている。若い医師が多く、明るい雰囲気活気ある職場である。